

みずほCustomer Desk Report 2022/02/14号 (As of 2022/02/10)

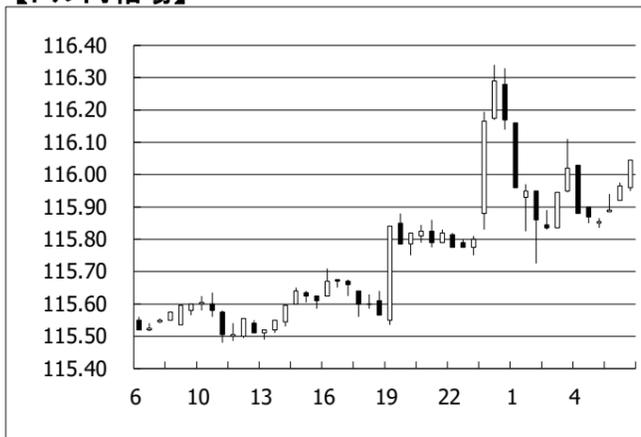
【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	115.63
TKY 9:00AM	115.60	1.1420	132.03	GBP/USD	1.3533
SYD-NY High	116.34	1.1495	133.15	AUD/USD	0.7178
SYD-NY Low	115.48	1.1375	131.87		
NY 5:00 PM	116.00	1.1427	132.56		
NY DOW	35,241.59	▲ 526.47	日本2年債	-0.0400	0.00bp
NASDAQ	14,185.64	▲ 304.73	日本10年債	0.2200	2.00bp
S&P	4,504.08	▲ 83.10	米国2年債	1.6082	24.28bp
日経平均	27,696.08	116.21	米国5年債	1.9650	14.48bp
TOPIX	1,962.61	10.39	米国10年債	2.0425	9.82bp
シゴ日経先物	27,395	▲ 445	独10年債	0.2895	7.25bp
ロンドンFT	7,672.40	28.98	英10年債	1.5290	10.00bp
DAX	15,490.44	8.43	豪10年債	2.0800	▲ 1.00bp
ハンセン指数	24,924.35	94.36	USDJPY 1M Vol	6.18	0.31%
上海総合	3,485.907	5.96	USDJPY 3M Vol	6.54	0.16%
NY金	1,837.40	0.80	USDJPY 6M Vol	6.76	0.16%
WTI	89.88	0.22	USDJPY 1M 25RR	-0.60	Yen Call Over
CRB指数	261.58	▲ 0.55	EURJPY 3M Vol	7.53	0.16%
ドルインデックス	95.55	0.06	EURJPY 6M Vol	7.68	0.15%

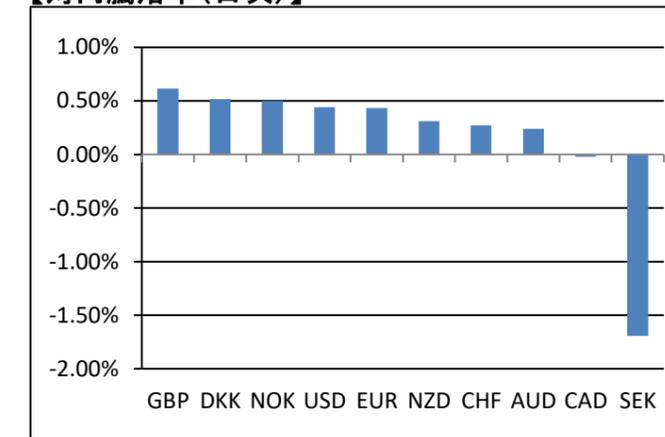
東京	東京時間のドル円は115.60レベルでオープン。前日高値115.69を前に上値重く仲値後に下落する展開。時間外取引で米金利が低下する動きに115.48まで下落するも日経平均の下げ止まりや日柄実需のドル買いにも支えられ底堅い展開に。午後には115.60台を回復し115.67レベルで海外時間へ。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、115.67レベルでオープン。米消費者物価指数の発表を控え全般に静かな相場付きだったが、日銀が翌週の10年国債の買いオペを無制限で行う方針と伝わると全般的に円が売られ、115.88まで上昇。115.78レベルでNYに渡った。(ロンドン・トルフリー 00531 444 179 神田)
ニューヨーク	115.78レベルでNYオープン。朝方は米1月CPIが予想を上振れたことからインフレ加速懸念が強まり、米金利上昇(10年利回りは2019年8月以来の2%超え)とともにドル買いで反応し、一時116.34まで上昇。しかし、1月4日高値(116.35)手前では上値が重くなり、その後はイベント通過後のポジション調整のドル売りが強まり、115.73まで反落。午後はブラッド・セントリス連銀総裁が「7月1日までの1ポイント利上げを支持」、「2000年以降の50bp利上げを支持」などの発言が伝わるとFRBの早期利上げ観測が強まり、再びドルが買われ116.12まで上昇。小幅反落後、116.00レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.14台半ばでレンジトレード。ECBデビッド・グリア副総裁が「インフレは従来の想定よりも長期間、高水準となるだろう」などと述べるも、米CPIの結果待ちで反応は限定だった中、1.1437レベルでNYオープン。朝方は米CPIの結果にドル買いで反応したことから1.1375まで下落。しかし、この水準では押し目の買いが控えており下げ渋り、その後ポジション調整のドル売りが強まったことから反発上昇。ユーロドルの買いもあいまって11月10日以下の水準となる1.1495をつけるも、節目の1.1500手前で反落。午後はブラッド・セントリス連銀総裁のコメントを背景にドル買いが強まり、1.14台半ばまで反落。終盤は一時1.1407まで下落後、結局、1.1427レベルでクロス。

担当: 鈴木

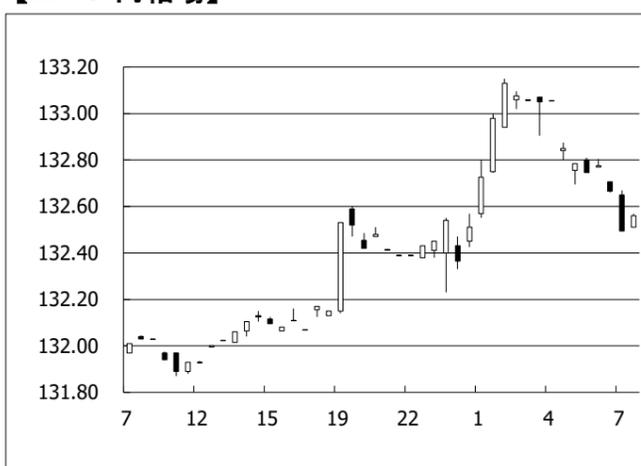
【ドル円相場】



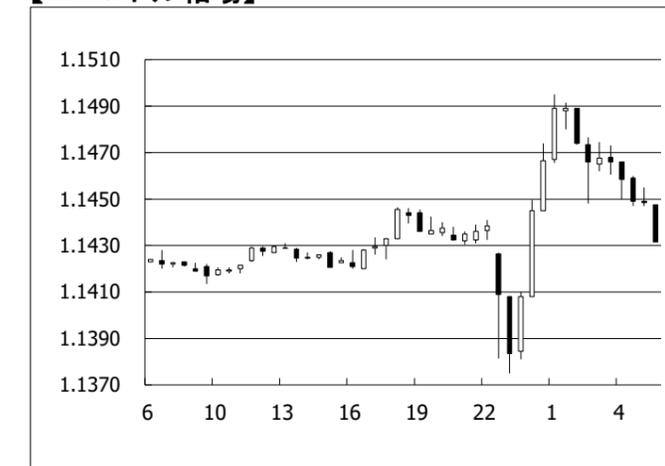
【対円騰落率(日次)】



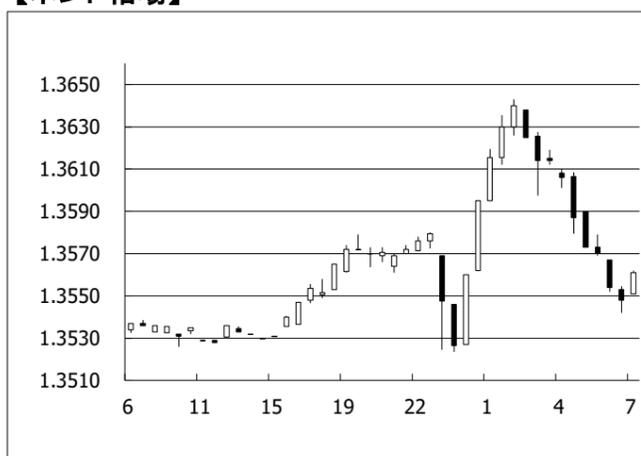
【ユーロ円相場】



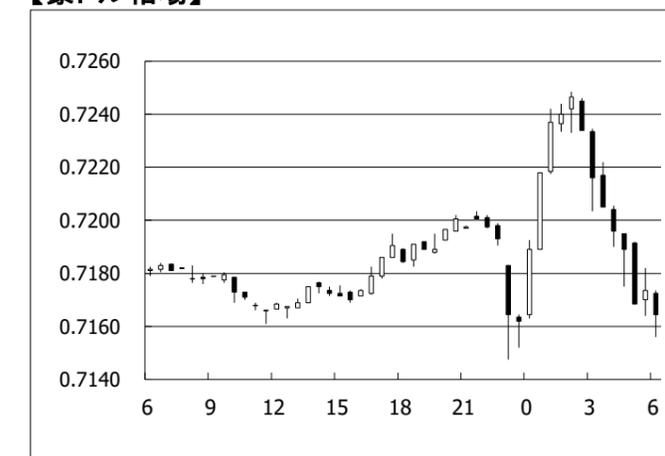
【ユーロドル相場】



【債券相場】



【豪ドル相場】



当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。